

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年7月27日



上場会社名 日立金属株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5486

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.hitachi-metals.co.jp>)

代表者 執行役社長 本多 義弘

問合せ先責任者 コミュニケーション室長 石毛 秀

TEL (03)5765 - 4075

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

固定資産の減価償却の方法について年度見込額のうち当第1四半期分を計上しております。また、法人税等の計上は、簡便的に課税所得金額を算定し、法定実効税率を使用して計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

セグメント情報「1. 事業の種類別セグメント情報」(注)に記載のとおり、当連結会計年度より事業区分を従来の「高級金属製品」「電子・情報部品」「自動車用高級鋳物部品」「設備・建築部材」「サービス他」の5事業から「高級金属製品」「電子・情報部品」「高級機能部品」「サービス他」の4事業に変更しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 97社 持分法適用非連結子会社数 2社 持分法適用関連会社数 18社

連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規)23社 (除外)1社 持分法(新規)2社 (除外)1社

<連結子会社>

(新規) Hercunite Foundry Technology Ltd.、日立金属(蘇州)閥門管件有限公司

日立金属(東莞)特殊鋼有限公司(新規設立)、(株)NEOMAX(株式追加取得による)

また、(株)NEOMAXが連結会社となったことに伴い、住特フェライト(株)、近畿住特電子(株)など(株)NEOMAXグループ19社が新たに当社グループに加わりました。

(除外)ヒサゴバルブサービス(株)(合併による)

<持分法適用会社>

(新規)双雄精密電子股份有限公司(NEOMAX新規連結に伴う編入)、Pacific Metals Tianjin Co., Ltd.

(除外)(株)NEOMAX(連結子会社へ編入)

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)百万円未満は四捨五入して表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	135,623	38.1	8,764	234.4	8,469	276.1	4,670	889.4
16年3月期第1四半期	98,178	-	2,621	-	2,252	-	472	-
(参考)16年3月期	420,080		18,576		15,184		3,408	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	13.21	13.17
16年3月期第1四半期	1.32	-
(参考)16年3月期	9.09	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（3ヵ月累計）における売上高は、高級金属製品および電子・情報部品の分野において需要が好調に推移したことに加え、株式会社NEOMAXグループが連結対象となったことから、前年同四半期を大幅に上回る135,623百万円となりました。収益につきましても、売上の増加に伴い大幅に伸長し、経常利益は8,469百万円、四半期純利益は4,670百万円となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

なお、アモルファス金属材料事業の買収や水処理事業の譲渡を実施し、また、株式会社NEOMAXグループを連結対象としたことにより事業構成が大幅に変化しました。これに伴い、当第1四半期よりセグメントの区分を変更しております。

高級金属製品

金型・切削工具および材料は、自動車やデジタル家電を中心とする旺盛な国内外の需要を受け、好調に推移しました。自動車関連部品・材料は、堅調な需要のもと当社が指向する高性能材料の採用が進み、好調に推移しました。シャドウマスク材は、有力新興国向けのパソコンのブラウン管ディスプレイ用や当社が得意とする平面ブラウン管テレビ用の需要が活発であった結果、好調に推移しました。ICリードフレーム材は、半導体の旺盛な需要を受け、好調に推移しました。ターゲット材は、大型液晶テレビ向けの需要が伸長し、韓国・台湾液晶メーカーの新規ラインの立ち上げが順調であった結果、好調に推移しました。ロールは、需要が伸び悩み、減少しました。射出成形機用部品は、アジアにおける活発な射出成形機需要を受け、堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は48,561百万円、営業利益は4,270百万円となりました。

電子・情報部品

当連結会計年度より株式会社NEOMAXグループが連結対象となり、当セグメントに加えております。マグネットは、自動車、家電およびFA関連が増加しました。フェライトコアおよび巻線部品は、当社が注力いたします携帯情報端末、液晶ディスプレイ、自動車用を中心に需要が伸長しました。情報通信用部品（アイソレータおよびアンテナスイッチモジュール）は、好調な携帯電話市場を背景に、好調に推移しました。この結果、当セグメントの売上高は38,579百万円、営業利益は2,966百万円となりました。

高級機能部品

高級ダクタイル鋳鉄製品は、トラック向けの需要が排ガス規制の強化に対応するため活発に推移したことにより、増加しました。耐熱鋳鋼製品は、対象車種の売れ行き不振と一部で他の材質への転換が進み、減少しました。アルミニウム製品は、トラック向けで増加があったものの、前期に実施した不採算製品の選別の結果、前年同四半期並みとなりました。アルミホイールは、当社が注力する大口徑・高意匠品の需要により、前年同四半期を上回りました。また、管継手（鉄管継手および防食継手）は、価格改定をひかえ駆け込み需要が旺盛であったことから、前年同四半期を上回りました。ステンレスおよびプラスチック配管機器は、価格の下落は続いたものの、一部製品のシェアが向上したことから前年同四半期を上回りました。産業機械用チェーンは、一般機械向けが増加したものの、公共投資抑制の影響を受け下水処理場向けが減少し、全体では前年同四半期を下回りました。二重構造床は、デジタル家電や携帯電話関連などの設備投資が増加したことに伴い、増加しました。柱脚部材は、旺盛なIT関連の設備投資に支えられ増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は40,796百万円、営業利益は1,828百万円となりました。

サービス他

国内販売、海外販売ともに好調でした。この結果、当セグメントの売上高は26,292百万円、営業利益は615百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	528,317	155,534	29.4	440.08
16年3月期第1四半期	430,543	152,737	35.5	427.93
(参考)16年3月期	429,289	151,224	35.2	427.40

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	1,659	4,540	1,380	45,798
16年3月期第1四半期	486	3,207	7,197	47,420
(参考)16年3月期	20,124	17,699	15,786	42,896

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前年度末残高から2,902百万円増加し45,798百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第1四半期の好調な業績及びNEOMAXグループの連結範囲への参入により大幅な増益となった一方、売上高の増大による売上債権の増加、また価格高騰に備えた原材料の確保等による棚卸資産の増加の影響が大きく、前年同期と比較し2,145百万円支出が増加し1,659百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式の追加取得があり、前年同期と比較し1,333百万円の支出増となり4,540百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の借入・返済が全体では均衡したことから、前年同期と比較し支出が5,817百万円の減少となり1,380百万円の支出となりました。

なお、当第1四半期から株式の追加取得により、(株)NEOMAX(旧住友特殊金属(株))を連結会社としたことによる現金及び現金同等物の増加が10,603百万円あります。

3. 平成17年3月期の業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(1) 中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

連結業績

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	232,000	7,500	2,500
今回修正予想(B)	百万円	265,000	14,000	6,000
増減額(B) - (A)	百万円	+33,000	+6,500	+3,500
増減率	%	+14%	+87%	+140%
(ご参考)前年同期実績 平成15年9月中間期	百万円	197,750	3,777	94

単独業績

	単位	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A)	百万円	105,000	3,500	1,300
今回修正予想(B)	百万円	119,000	5,000	2,000
増減額(B) - (A)	百万円	+14,000	+1,500	+700
増減率	%	+13%	+43%	+54%
(ご参考)前年同期実績 平成15年9月中間期	百万円	119,136	1,587	933

(2) 通期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

平成17年3月期通期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)業績予想につきましては、現段階で下半期の事業環境を見極めることが困難なことから中間期のみにとどめ、通期については連結・単独業績ともに現時点での業績予想は行っておりません。通期業績予想につきましては、下期の事業環境が見通せる状況となった時点で速やかに開示いたします。

[業績予想に関する定性的情報等]

パソコンや携帯電話、半導体などエレクトロニクス関連製品の旺盛な需要に加え、自動車関連分野の需要も好調に推移しており、平成16年9月中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)の業績は、売上高、利益とも当初予想を上回る見込みです。

(注記) 前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提および仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実際の業績等が見通しの数値と異なることがあり得ますことをご承知おき下さい。

連 結 貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

科 目	当第1	前連結	(A) - (B)	前第1	科 目	当第1	前連結	(A) - (B)	前第1
	四半期末 (A) (平成16年 6月30日現在)	会計年度末 (B) (平成16年 3月31日現在)		四半期末 (平成15年 6月30日現在)		四半期末 (A) (平成16年 6月30日現在)	会計年度末 (B) (平成16年 3月31日現在)		四半期末 (平成15年 6月30日現在)
流 動 資 産	<u>266,699</u>	<u>214,778</u>	<u>51,921</u>	<u>219,553</u>	流 動 負 債	<u>188,567</u>	<u>141,484</u>	<u>47,083</u>	<u>151,812</u>
現金及び預金	28,047	20,746	7,301	26,873	支払手形及び買掛金	55,974	40,757	15,217	37,016
受取手形及び売掛金	106,107	80,286	25,821	73,067	短期借入金	70,388	49,243	21,145	48,152
完成工事未収入金	2,249	2,972	723	9,666	1年以内に返済 すべき長期借入金	7,533	4,153	3,380	8,222
関係会社預け金	17,615	22,099	4,484	18,396	1年以内償還の社債 及び転換社債	13,448	11,404	2,044	19,951
有価証券	167	1,086	919	4,192	未払費用	18,135	18,838	703	15,793
たな卸資産	91,673	71,668	20,005	72,048	前受金	3,508	2,150	1,358	8,045
繰延税金資産	12,721	10,844	1,877	9,742	繰延税金負債	5		5	9
その他の流動資産	9,657	6,468	3,189	6,981	その他の流動負債	19,576	14,939	4,637	14,624
貸倒引当金	1,537	1,391	146	1,412					
					固 定 負 債	<u>142,927</u>	<u>126,053</u>	<u>16,874</u>	<u>116,944</u>
固 定 資 産	<u>261,618</u>	<u>214,511</u>	<u>47,107</u>	<u>210,990</u>	社 債	42,835	40,750	2,085	36,860
有形固定資産	<u>208,671</u>	<u>151,456</u>	<u>57,215</u>	<u>162,472</u>	長期借入金	52,151	41,975	10,176	37,554
建物及び構築物	68,446	51,544	16,902	53,912	退職給付引当金	30,024	26,422	3,602	25,443
機械装置及び運搬具	68,503	53,519	14,984	60,926	役員退職慰労引当金	1,060	1,335	275	988
工具器具備品	6,225	3,781	2,444	3,992	繰延税金負債	4,256	2,972	1,284	2,347
土地	60,036	38,189	21,847	38,729	連結調整勘定	2,652	905	1,747	1,111
建設仮勘定	5,461	4,423	1,038	4,913	その他の固定負債	9,949	11,694	1,745	12,641
					負 債 合 計	<u>331,494</u>	<u>267,537</u>	<u>63,957</u>	<u>268,756</u>
無形固定資産	<u>3,323</u>	<u>2,977</u>	<u>346</u>	<u>3,537</u>	少数株主持分	41,289	10,528	30,761	9,050
					資 本 金	<u>26,283</u>	<u>26,283</u>		<u>26,283</u>
投 資 等	<u>49,624</u>	<u>60,078</u>	<u>10,454</u>	<u>44,981</u>	資本剰余金	36,699	36,699		36,699
投資有価証券	16,122	27,792	11,670	11,053	利益剰余金	99,175	95,940	3,235	93,539
長期貸付金	1,372	1,169	203	386	その他有価証券 評価差額金	1,537	1,500	37	504
繰延税金資産	23,376	23,915	539	26,630	為替換算調整勘定	6,669	7,711	1,042	4,209
その他の投資等	9,687	7,738	1,949	7,693	自 己 株 式	<u>1,491</u>	<u>1,487</u>	<u>4</u>	<u>79</u>
貸倒引当金	933	536	397	781					
					資 本 合 計	<u>155,534</u>	<u>151,224</u>	<u>4,310</u>	<u>152,737</u>
資 産 合 計	<u>528,317</u>	<u>429,289</u>	<u>99,028</u>	<u>430,543</u>	負債、少数株主持分 及び資本合計	<u>528,317</u>	<u>429,289</u>	<u>99,028</u>	<u>430,543</u>

連結損益計算書

	当第1四半期(A) 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日		前第1四半期(B) 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日		(A) - (B)	(A) / (B)	前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	
	金額	売上比	金額	売上比			金額	売上比
【経常損益の部】	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
営業損益の部								
売上高	135,623	100.0	98,178	100.0	37,445	138	420,080	100.0
売上原価	107,101	79.0	79,627	81.1	27,474	135	336,495	80.1
販売費及び一般管理費	19,758	14.6	15,930	16.2	3,828	124	65,009	15.5
営業利益	8,764	6.5	2,621	2.7	6,143	334	18,576	4.4
営業外損益の部								
営業外収益	1,131	0.8	1,004	1.0	127	113	4,019	1.0
(受取利息及び配当金)	(110)		(116)		(6)	(95)	(285)	
(持分法による投資利益)	(138)		(3)		(135)	(4,600)	(782)	
(雑収益)	(883)		(885)		(2)	(100)	(2,952)	
営業外費用	1,426	1.1	1,373	1.4	53	104	7,411	1.8
(支払利息)	(624)		(513)		(111)	(122)	(2,092)	
(雑損失)	(802)		(860)		(58)	(93)	(5,319)	
経常利益	8,469	6.2	2,252	2.3	6,217	376	15,184	3.6
【特別損益の部】								
特別利益	1,805	1.3	201	0.2	1,604	898	3,142	0.7
(連結子会社株式売却益)	()		()		()	()	(167)	
(固定資産売却益)	(444)		(201)		(243)	(221)	(2,975)	
(持分変動利益)	(1,361)		()		(1,361)	()	()	
特別損失	1,278	0.9	960	1.0	318	133	8,661	2.1
(会計基準変更時差異償却による退職給付引当金繰入額)	(753)		(760)		(7)	(99)	(3,049)	
(確定拠出年金制度移行に伴う損失)	()		()		()	()	(114)	
(固定資産売却損)	()		()		()	()	(300)	
(事業構造改革特別損失)	(525)		(200)		(325)	(263)	(3,859)	
(投資有価証券評価損)	()		()		()	()	(389)	
(過年度賞与負担社会保険料)	()		()		()	()	(950)	
税金等調整前 四半期(当期)純利益	8,996	6.6	1,493	1.5	7,503	603	9,665	2.3
法人税等	3,453	2.5	971	1.0	2,482	356	5,909	1.4
少数株主利益(又は損失)	873	0.6	50	0.1	823	1,746	348	0.1
四半期(当期)純利益	4,670	3.4	472	0.5	4,198	989	3,408	0.8

連結剰余金計算書

	当第1四半期(A) 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	前第1四半期(B) 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日	(A) - (B)	(A) / (B)	前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
【資本剰余金の部】	百万円	百万円	百万円	%	百万円
資本剰余金期首残高	36,699	36,699	—	100	36,699
資本剰余金四半期末(期末)残高	36,699	36,699	—	100	36,699
【利益剰余金の部】					
利益剰余金期首残高	95,940	94,523	1,417	101	94,523
利益剰余金増加高	4,670	472	4,198	989	3,408
四半期(当期)純利益	4,670	472	4,198	989	3,408
利益剰余金減少高	1,435	1,456	21	99	1,991
配当金	1,237	1,249	12	99	1,784
取締役賞与金	198	207	9	96	207
利益剰余金四半期末(期末)残高	99,175	93,539	5,636	106	95,940

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	前第1四半期 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日	前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
【営業活動によるキャッシュ・フロー】	百万円	百万円	百万円
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,996	1,493	9,665
減価償却費	6,079	5,017	19,108
事業構造改革特別損失	525	-	2,452
持分変動利益	1,361	-	-
退職給付引当金の増加額又は減少額()	290	343	935
受取利息及び受取配当金	110	116	285
支払利息	624	513	2,092
売上債権の増加額()又は減少額	3,705	688	6,569
完成工事未収入金の減少額	730	3,401	10,065
たな卸資産の増加額()	6,736	4,058	4,438
仕入債務の増加額又は減少額()	1,708	4,292	954
前払費用の増加額()	1,522	828	-
その他	2,045	2,642	4,650
小計	3,473	4,803	27,421
確定拠出年金移管金の支払額	1,864	1,652	1,851
事業構造改革特別損失の支払額	109	-	-
利息及び配当金の受取額	106	39	456
利息の支払額	562	653	2,405
法人税等の支払額	2,703	2,051	3,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,659	486	20,124
【投資活動によるキャッシュ・フロー】			
有価証券の売却による収入	1,002	7	153
有形固定資産の取得による支出	4,736	4,827	17,281
有形固定資産の売却による収入	606	1,758	15,891
関係会社株式の追加取得による支出	1,270	-	-
その他	142	145	16,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,540	3,207	17,699
【財務活動によるキャッシュ・フロー】			
短期借入金純増加額	4,483	2,476	3,421
長期借入による収入	500	650	14,623
長期借入金の返済による支出	2,178	4,241	21,436
社債の発行による収入	2,096	1,208	11,619
社債の償還による支出	4,900	5,969	20,689
自己株式の取得による支出	4	2	1,410
親会社による配当金の支払額	1,237	1,249	1,784
少数株主への配当金の支払額	140	70	130
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,380	7,197	15,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	122	46	1,127
現金及び現金同等物の減少額()	7,701	9,964	14,488
現金及び現金同等物期首残高	42,896	57,384	57,384
新規連結に伴う現金及び現金同等物増加額	10,603	-	-
現金及び現金同等物期末残高	45,798	47,420	42,896
現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係			
現金及び預金	28,047	26,873	20,746
有価証券(MMF等)	136	2,151	51
関係会社預け金	17,615	18,396	22,099
現金及び現金同等物期末残高	45,798	47,420	42,896

セグメント情報

今期より経営管理の実態にあわせ、かつ迅速な情報開示を図るためセグメント区分を変更いたしました。前第1四半期についても新セグメント区分に組替えて作成しております。

1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期：平成16年4月1日～平成16年6月30日

(単位：百万円)

	高級 金属製品	電子・ 情報部品	高級機能 部品	サービス他	計	消去 又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	40,380	32,764	36,984	25,495	135,623	-	135,623
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	8,181	5,815	3,812	797	18,605	18,605	-
計	48,561	38,579	40,796	26,292	154,228	18,605	135,623
営業費用	44,291	35,613	38,968	25,677	144,549	17,690	126,859
営業利益	4,270	2,966	1,828	615	9,679	915	8,764

前第1四半期：平成15年4月1日～平成15年6月30日

(単位：百万円)

	高級 金属製品	電子・ 情報部品	高級機能 部品	サービス他	計	消去 又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	34,205	9,041	33,917	21,015	98,178	-	98,178
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	6,089	3,719	3,589	551	13,948	13,948	-
計	40,294	12,760	37,506	21,566	112,126	13,948	98,178
営業費用	37,990	12,740	36,516	22,044	109,290	13,733	95,557
営業利益	2,304	20	990	478	2,836	215	2,621

(注) 事業区分の方法・・・製品の種類、製造方法、販売方法等の類似性、収益管理等の単位を勘案し事業区分を行っている。(事業区分の変更)当連結会計年度より、事業区分を従来の「高級金属製品」「電子・情報部品」「自動車用高級鋳物部品」「設備・建築部材」「サービス他」の5事業から次の(注)のとおり、「高級金属製品」「電子・情報部品」「高級機能部品」「サービス他」の4事業に変更した。これは、(株)NEOMAXグループが連結対象となったことやアモルファス金属材料事業の買収、水処理事業の譲渡などによる事業構成の大幅な変化を契機に事業区分の見直しを行い、当社の連結経営管理上主要な製品事業区分を「高級金属製品」「電子・情報部品」「高級機能部品」の3事業に再編成したことによるものである。従来の「自動車用高級鋳物部品」「設備・建築部材」セグメントに属する製品については、環境事業の縮小にともない、製品形態、製造方法の類似性が高まったため、これらを「高級機能部品」として統合し、環境事業製品を「サービス他」に変更した。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
高級金属製品	高級特殊鋼、複写機・OA機器関連部品、ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料 鉄鋼圧延用ロール・非金属圧延用ロール・非金属用ロール、射出成形機用部品、 構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品、建設機械・造船その他一般産業機械用鋳鋼品、 鍛鋼品、切削工具
電子・情報部品	フェライト・希土類・鋳造・ボンドマグネットおよびその応用品 アイソレータ、積層部品、ソフトフェライト、EMC部品 IT機器用材料・部品、AV用部品・材料、ナノ結晶軟磁性合金[ファインメット®]
高級機能部品	高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®]、耐熱鋳造製品[ハーキュナイト®] アルミホイール[SCUBA®]その他アルミニウム製品、プラスチック配管機器、 ステンレス配管機器、鉄管継手、管端防食継手、排水鋼管用可とう継手、冷却水供給装置、 精密流体制御機器、密閉式膨張用タンク、内装システム、構造システム
サービス他	環境設備(償却・廃棄物処理)、環境分析・コンサルティング、 金属材料の分析・調査・解析、マグネシウム他軽合金材料のプレスフォーミング成形品、 その他の販売・サービス等

本セグメント情報の金額は消費税抜きで表示している。

営業費用のうち「消去又は全社」に含めた配賦不能営業費用(当第1四半期740百万円、前第1四半期281百万円)の主なものは、提出会社の本社コーポレート部門に係る費用である。

2. 所在地別セグメント情報

当第1四半期：平成16年4月1日～平成16年6月30日

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は 全社	連結
.売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	102,210	16,698	12,818	3,897	135,623	-	135,623
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	13,917	1,796	6,729	120	22,562	22,562	-
計	116,127	18,494	19,547	4,017	158,185	22,562	135,623
営業費用	107,853	17,595	18,856	3,931	148,235	21,376	126,859
営業利益	8,274	899	691	86	9,950	1,186	8,764

前第1四半期：平成15年4月1日～平成15年6月30日

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は 全社	連結
.売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	74,811	14,574	5,231	3,562	98,178	-	98,178
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	7,344	733	2,271	90	10,438	10,438	-
計	82,155	15,307	7,502	3,652	108,616	10,438	98,178
営業費用	80,638	14,343	7,291	3,554	105,826	10,269	95,557
営業利益	1,517	964	211	98	2,790	169	2,621

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1)北米・・・アメリカ
- (2)アジア・・・シンガポール・中国・タイ・フィリピン
- (3)その他の地域・・・ドイツ・オーストラリア

営業費用のうち「消去又は全社」に含めた配賦不能営業費用(当第1四半期740百万円、前第1四半期281百万円)の主なものは、提出会社の本社コーポレート部門に係る費用である。

3. 海外売上高

当第1四半期：平成16年4月1日～平成16年6月30日(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
.海外売上高	15,763	26,506	6,853	49,122
.連結売上高				135,623
.海外売上高の連結売上高に占める割合	11.6%	19.5%	5.1%	36.2%

前第1四半期：平成15年4月1日～平成15年6月30日(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
.海外売上高	13,308	12,181	5,291	30,780
.連結売上高				98,178
.海外売上高の連結売上高に占める割合	13.6%	12.4%	5.4%	31.4%

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

各区分に属する主な国又は地域

- (1)北米・・・アメリカ・カナダ
- (2)アジア・・・韓国・中国・台湾・シンガポール
- (3)その他の地域・・・EU諸国

海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

売上高の金額は消費税等抜きで表示している。